

江兒童館の屋上防水改修工事、永和小学校の公共下水道接続工事等です。

質疑 個人番号カード関連業務委託交付金について、契約・業務の内容、委託先は。

答弁 通知カードの作成、個人番号カード申請受付処理、コールセンター業務などを地方公共団体システム機構に委任する。

質疑 永和小学校の公共下水道接続工事費について、工事の内容は。浄化槽は撤去するのか、貯水槽として使うのか。

答弁 校舎のトイレ、特別教室、手洗い場等の配管接続、プールの汚水、体育館、屋外トイレの配管接続の工事を計画している。既設の浄化槽が2基あるが、防火水槽への転用を計画している。夏休みの期間中に工事着工をした。

一般会計補正予算の 討論

反対

マイナンバー(個人番号)制度には、個人情報保護に課題がある。今後、どんな情報をリンクさせていくのか見えていないし、所得の正確な把握はできず不公平が残る。マイナンバー制度導入には、現時点で問題があり、反対する。



次の選任に同意しました。

公平委員会委員

川崎 修一 氏(名古屋市中)

教育委員会委員

杉方 南衣 氏 (須依町)

意見書案

国民的合意のないままに、安全保障体制の見直しを行わないよう求める意見書

賛成少数で不採択となりました。

(主な内容)

政府の安全保障法制への対応は憲法9条を逸脱しており、国民の多くが疑問を感じている。国民論議を喚起し国のありようは国民にゆだねるべきで、国民的合意のないままに、見直しを行わないよう求める。

意見書案の討論

賛成

多くの自治体議会が、同じような意見書を提出している。近隣自治体では「うちは、年齢の高い自民党系の議員が先頭にたつてとりまとめた」

と言われた。強引に解釈を変えようとすることは問題であり、実際に有事が発生したときに的確な判断ができない法案には、慎重審議を求めるべきだ。

賛成

自衛隊を認める人、憲法改正を求めている人たちも、内閣の判断で解釈改憲することは許されないと反対している。国民の権利を守り、権力を縛る憲法を、時の内閣が、解釈や運用を都合よく変えることは、許されない。

賛成

国会論議で、集団的自衛権の行使とともに「戦闘地域」まで自衛隊を派兵し、「後方支援」を行うなど、自衛隊員が「殺し、殺される」危険が明らかになった。愛西市の若者を戦場に送る「戦争法案」は許されない。

反対

現在、国では集団的自衛権の極めて限定的な範囲での行使容認について、慎重かつ丁寧に審議が進められている。

慎重審議を求める意見書であれば理解できるが、この内容では賛成できない。

反対

安保法案で最も重要なのは、日本の国家主権を守れるかだ。現在の世界情勢は、法改正を行わなければ日本の安全を維持できない状況だ。的外れな意見書には賛成できない。

反対

日本を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中、自衛の措置がどこまで認められるかを議論した結果が昨年7月の閣議決定だ、他国防衛のための集団的自衛権の行使を認めるものではない。誤解をされる意見書には反対。